

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	新公会計制度アドバイザリー会議
日 時	平成26年7月2日(水) 13時50分～16時05分
場 所	府庁本館1階 第1会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)：小幡特別参与 武田特別参与 (職員等)：清水監査委員 会計管理者兼会計局長 会計指導課 課長、課長補佐2名、主査3名 財産活用課 課長補佐1名、総括主査2名
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・減損会計について ・減損会計に係る処分費用見込額の設定について（報告） ・法人等出資金の表記について（報告）
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府立稲スポーツセンター」について、改築時に利用者数目標を設定していないか確認してもらいたい（【資料1-1】参照）。 ・「枚方保健所」について、平成26年4月に業務移管されることを、財務諸表の注記に記載するべきである（【資料1-2】③参照）。 ・減損額の測定時の府内標準単価を設定するため、建物撤去費（処分費用見込額）の事例収集をされているが、再調達価額の事例収集が現段階でできていない中で、処分費用見込額のための標準単価設定はどうかと思う（【資料2】参照）。 ・法人等出資金明細表に「有価証券」等と区分表記を入れた上、上位に記載するべきである（【資料3】「変更後の表」参照）。
結 論	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府立稲スポーツセンター」について、改築時に利用者数目標を設定していないか確認した上、報告する。 ・「枚方保健所」について、平成26年4月に業務移管されることを、財務諸表の注記に記載する。 ・建物等の用途変更等に伴い、減損額を測定するために必要となる再調達価額、処分費用見込額については、今後、具体的な事例が発生した際に、個別に額を算出することとする。 ・法人等出資金明細表に「有価証券」等と区分表記を入れた上、上位に記載する。

<p>説明等資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 議事次第 • 【資料１－１】減損の兆候を判断する指標一覧（新規財産） • 【資料１－２】減損の状況 <ul style="list-style-type: none"> ①普通財産 減損対象件数等一覧 ②行政財産 減損認識件数一覧 ③減損の兆候があるもの ④減損を認識したもの • 【資料２】建物撤去費について • 【資料３】法人等出資金の取り扱いについて（案） • 【その他】第五回「新公会計制度普及促進連絡会議」次第 他
<p>関係部局 （室課）</p>	<p>財産活用課</p>